

やめられない、とまらないがん検診

～検診廃止で増えないがん死率～

《プログラム》

☆^{やすおか}何故泰阜村は集団検診をやめたか (DVD 上映)

・・・網野皓之医師へのインタビュー

☆その後の泰阜村訪問 - 松島貞治村長のお話 ・・・山田千絵

☆がん検診被ばくのリスク ・・・崎山比早子

☆がん検診の有効性を検証する ・・・瀬川嘉之

☆自治体におけるがん検診 練馬区の場合 ・・・池尻成二 (練馬区議)

主催：高木学校

日時：2010年1月30日(土)

13:30～17:00 (開場 13:00)

会場：カタログハウス・セミナーホール

渋谷区代々木2-12-2 (JR 新宿駅徒歩7分)

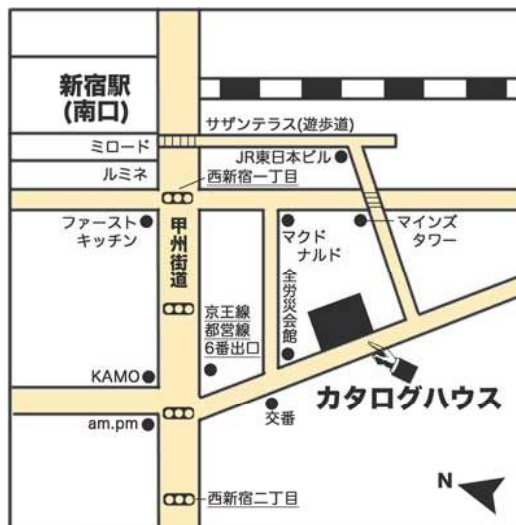
参加費：大人 1000 円 (事前振込 700 円)

学生 800 円 (事前振込 500 円)

申込：会場の都合もありますので、参加ご希望の方は郵便、ファックス、またはEメールで、高木学校事務局まで事前にお申込みください。

※事前振込の方は、下記に参加費をお振込みください。

郵便振替 00150-8-28425 加入者名 高木学校



高木学校事務局 〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-5 曙橋コーポ2階B

Tel : 03-3353-2928

Fax : 03-3357-3801

Eメール : takasas@ja.main.jp ホームページ <http://takasas.main.jp>

(ご連絡は高木学校事務局へ、カタログハウス社へは問い合わせないで下さい。)

高木学校 第13回市民講座

政府はがん対策推進計画に基づいてがん検診受診率を50%に引き上げようとしています。一方、肺がん、胃がん、乳がん検診等は放射線を使いますから発がんなどのリスクを伴います。受診率を上げれば、被ばくによるリスクも増えます。それにみあうだけのがん死率減少効果はあるのでしょうか？

長野県泰阜村では20年以上も前から一切の集団検診を中止し、その予算を福祉に振り向けました。村を検診廃止に導いた網野皓之医師に、なぜ検診を止めたのか、その結果がん死亡率や医療費はどう変化したのか等をお話いただいたインタビュー記録を上映します。また、泰阜村を訪問し、松島貞治村長にうかがった、がん検診廃止その後の状況を紹介します。

高木学校では、がん検診受診率が上がればがん死率は下がるのかどうかを各都道府県間で比較検討しました。その調査結果を報告します。

検診受診率を上げるとその大部分の予算は自治体が負担することになります。自治体での検診の実態はどうなっているのか？50%に引き上げることによって予算はどう変化するのかを練馬区池尻成二議員にうかがいます。

発表されたデータをもとに検診についてご一緒に考えてみませんか？

みなさま、お誘い合わせの上どうぞご参加下さい。お待ちしております。

-----**参加申込書** (Fax は切り取らずに送信ください) -----

FAX 送付先 03-3357-3801

◎ 高木学校第13回市民講座に参加申し込みます。

氏名1		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生
連絡先住所		
電話・Fax :	E-mail :	
氏名2		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生
氏名3		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生
通信欄		